

ユニバーサル・コンパクト・ミニバン 新型シエンタ登場!

アクティブで機能的、燃費を大幅に向上



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351代表

トヨタ
新型
シエンタ
特集号



2代目に当たる新型シエンタはコンパクトボディに3列シートを備え魔法のようなユーティリティを秘めたトヨタ最小ミニバンだ!

「スライドドアのミニバンは四角いハコ型」という先入観を打ち破るアクティブなスタイルへと変身し、待望のハイブリッド車に加え、高効率エンジンを搭載した新世代ガソリン車もラインアップ。使い勝手のよさだけでなく、運転して移動する楽しさも満たしてくれる。さらに、先進安全機能であるトヨタ・セーフティセンスCも設定され、安全に楽しく目的地を目指すことができるクルマに仕上がった。子育てファミリーはもちろん、ダウンサイジングを求めるシニア層にもお勧めできる新型シエンタ。そのコンパクトミニバンならではの魅力を解き明かしていこう。



ハイブリッド車 **27.2km/ℓ**
ガソリン車 (2WD X Vパッケージ) **20.6km/ℓ**
(JC08モード燃費)

衝突回避支援パッケージ「Toyota Safety Sense C」を設定

文 田畑修(モータージャーナリスト) 写真 奥隅圭之



木目調のインパネ、メータークラスターなどの加飾

純正
用品装着で個性的なシエンタを演出



メッキグリル、フロントドアガーニッシュなどを装着



これからはいつでも出かけができるから楽しみが増えました!

ここまで広がったシエンタ!

ウェルキャブ

広がった室内スペースや低床&フラットフロアを生かし、リクライニング式の車いすでの乗車も可能としたウェルキャブを用意。「車いすの方1名+3名」の車いす仕様車は介助者が隣に乗れるために安心して移動でき、車いすを利用しないときは5人乗車も可能となる。その他にも維持費を抑えられる8ナンバー登録の車いす仕様車や、ストレッチャーでの乗車を可能としたタイプも用意。使用目的や予算に応じて最適なウェルキャブを選ぶことができる。

小さな子供からお年寄りまで、誰もが使いやすいコンパクトミニバンに仕上げられた新型シエンタ!

ユニバーサルなミニバン

フロアの低床化によりスライドドアの乗り込み高は330mmと低く、ノンステップとしたことでつまづくこともない。スライドドア開口幅は665mmと広く、開口高も1145mmと十分あるので、物を持ったまま乗り込むときでも窮屈さを感じずにすむ。もちろんスライドドアはワンタッチ電動パワー開閉式で、乗降用アシストグリップは子供やお年寄りでも握りやすい位置に配置されている。バックドア開口部も先代モデルより拡げられ、フロア高も低いので大きな荷物の積みおろしも苦にならない。ユニバーサルなミニバンとして、誰もが使い勝手のよさを実感できるはずだ。



トヨタ シエンタ 主要諸元表	ハイブリッド車				ガソリン車			
	2WD		2WD		4WD		4WD	
	G	X	G	X	V Package	G	X	V Package
トランスミッション	電気式無段変速機				Super CVT-i(自動無段変速機)			
車両重量(kg)	1,380		1,320		1,310	1,380		1,370
JC08モード燃費(km/ℓ)	27.2		20.2		20.6	15.4		19.6
最小回転半径(m)	5.2 ※1				5.2			
全長×全幅(mm)			4,235×1,695				1,675	
ホイールベース(mm)	1,675				1,695			
トレッド(前/後)(mm)	1,480/1,480 ※2		1,480/1,480		1,485/1,470		1,480/1,480	
最低地上高(mm)	145				130			
室内(mm) 長×幅×高	2,535×1,470×1,280				1,850×1,470×1,290			
乗車定員(名)	7	6	7	7	6	6	6	5
エンジン型式	1NZ-FXE		2NR-FKE		1NZ-FE		2NR-FKE	
エンジン種類	直列4気筒DOHC							
エンジン総排気量(ℓ)	1,496							
エンジン最高出力(ネット)(kW/PS/rpm)	54(74)/4,800		80(109)/6,000		76(103)/6,000		80(109)/6,000	
エンジン最大トルク(ネット)(N·m/kgf·m/rpm)	111(11.3)/3,600~4,400		136(13.9)/4,400		132(13.5)/4,400		136(13.9)/4,400	
使用燃料/燃料タンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン/42				無鉛レギュラーガソリン/45		無鉛レギュラーガソリン/42	
ステアリング	ラック&ピニオン							
サスペンション	前: マクファーソンストラット式コイルスプリング 後: トーションビーム式コイルスプリング		前: マクファーソンストラット式コイルスプリング 後: トーションビーム式コイルスプリング		ダブルウィッシュボーン式コイルスプリング		ダブルウィッシュボーン式コイルスプリング	
ブレーキ	前/後: ベンチレーテッドディスク/ディスク		185/60R15					
タイヤ	前輪駆動方式		四輪駆動方式		前輪駆動方式		前輪駆動方式	
駆動方式	2LM/交流同期電動機							
モーター型式/種類	45(61)							
モーター最高出力(kW/PS)	169(17.2)							
モーター最大トルク(N·m/kgf·m)	ニッケル水素電池/20/直列/6.5							
耐用主電池種類/定格容量(Ah)								

燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、洗濯等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。オプション装着によっては車両重量、燃料消費率などが変化します。詳しくは販売店にお問い合わせください。
※1 195/50R16タイヤ&16×6Jアルミホイールを装着した場合、5.8mになります。 ※2 195/50R16タイヤ&16×6Jアルミホイールを装着した場合、前後とも1,470mmになります。



モトーン MONOTONE 8色



質感を一段と高めたインテリアも注目ポイント!

ミニバンには欠かせない 収納スペースの充実ぶりも大きな魅力だ!

多彩な収納

前席回りでは助手席アッパーボックス、助手席オープントレイなどが座ったままでも手の届く位置に配置され、セカンドシート回りには収納力のあるリアドアポケット、マルチユーストレイ(6人乗り車)など、ちょっとした身の回りのものを置くスペースが設けられている。サードシートにも小型ポケットやスマートフォンホルダーがあり、カップホルダーは前席、セカンドシート、サードシートとも各席に専用ホルダーを用意。乗員全員が気持ち良く過ごせるように配慮されている。



Toyota Safety Sense C

安全装備

全方向コンパティビリティボディやSRSエアバッグ、頸部傷害低減シートによって万一の衝突時には乗員を守り、加えて最新の予防安全性能も備える新型シエンタ。新たにオプション設定されたトヨタの先進安全機能である「トヨタ・セーフティセンスC」は、レーザーレーダーと単眼カメラにより常に前方を監視し、危険を予測した場合は警告と自動ブレーキにより衝突回避を支援。さらに不注意による車線逸脱を警告するレーンデパーチャーアラート、夜間の視界を確保してくれるオートマチックハイビームなども装備する。シフト操作時の急発進、急加速を抑制するドライブスタートコントロール機構も備え、全方向の安全性を確保している。



インテリア

デザインにもこだわったインパネやダッシュボードは、メーターの位置やスイッチ類の配置にもひと工夫加えられており、使い勝手や視認性を確保している。3本スポークのステアリングホイールが標準装着され、その上に位置するハイポジションコンビネーションメーターは運転中の視線移動を最小限に抑えるだけでなく、先進性を感じさせる。ダイヤル式のエアコンスイッチは直感的に操作でき、オートエアコン車は間接照明があしらわれて室内を彩る。インテリアカラーは3種類が用意され、アクセントカラーやメッキ加飾、ピアノブラック加飾などにより質感を高めている点も見逃せない。乗り込むたびに新鮮さを感じる仕上がりだ。

フレックストーン FLEXTONE 5色



シエンタ

コンパクトながら存在感のあるスタイルが際立つ新型シエンタ!



エクステリア

ボディサイドまで大きく切れ込んだヘッドランプや台形のフロントグリルがシャープな印象を与え、サイドに回ると切れ上がったキャラクターラインが躍動感を醸し出す。リアはバンパープロテクターがデザインの一部となり、インパクトのある後ろ姿が目につかれる。ボディカラーは鮮やかなエアアイエローからシックなブラックマイカまで8色が用意され、ガーニッシュやドアミラーにアクセントカラーを配したフレックストーン仕様も設定。ヘッドランプおよびリアコンビネーションランプをLEDとしたLEDパッケージもオプション設定され、自分なりのコーディネートを楽しめることができる。

ハイブリッド機構と走行性能

新登場のハイブリッド車には、電動モーターとガソリンエンジンを組み合わせてシステム出力100psのハイブリッドシステムを搭載。低速時のモーター走行を可能とし、高効率のアトキンソンサイクルエンジンの搭載によりJC08モード燃費は27.2km/ℓと、3列シートミニバンではトップクラスの低燃費を実現。スムーズかつ力強い走りを



リダクション機構付 THSII+1NZ-FXE

実現しながら、優れた環境性能も兼ね備えている。また、ガソリン車も含めてボディ剛性を一段と高め、サスペンションを最適化させたことでフラットな乗り心地と高い操縦安定性を両立。さらにエアロスタビライジングフィンの採用などにより空力性能を細部まで煮詰め、静粛性も向上。どの席に座っても快適に目的地を目指すことができる。

新高効率ガソリンエンジン

ガソリン車には新世代テクノロジーの投入により高い熱効率を実現した1.5ℓの2NR-FKE型エンジンを搭載。高い圧縮比やエンジン内部の摩擦損失の低減、吸気ポートや燃焼室形状の最適化により動力性能と低燃費を両立。電動モーターによるバルブタイミング制御といったテクノロジーも盛り込まれ、アイドリングストップ機構を備える2WD車はJC08モード燃費20.6km/ℓと、ハイブリッド車には届かないもののトップレベルの環境性能を実現している。



2NR-FKE VVT-iEエンジン

ゆとりの室内スペース&快適な乗り心地!



パッケージング

SIENTA

全長4235mm、全幅1695mmというコンパクトなボディながら、巧みなパッケージングにより3列シート車にふさわしい室内スペースを実現。薄型燃料タンクを採用し、ハイブリッド車は駆動用バッテリーをセカンドシート下に配することで低床フロアを実現。その結果、室内高は先代モデルに比べて20mm高くなり室内の余裕度は増している。3列のシートは後ろにいくに従ってヒップポイントを上げるシアターレイアウトにより乗員全員の視界を確保して圧迫感を低減。セカンドシートは105mmのスライドと最大36度のリクライニング機構により座り心地を高め、サードシートも大人2人がしっかりと座れる幅を確保。サードシートのダイブイン収納機構により、必要に応じて広いラゲッジスペースを得られる点も特筆できる。



Engineer's Voice

トヨタ自動車 製品企画本部 チーフエンジニア 彌川 宏 (かゆかわひろし) さん

2BOX車の手軽さとミニバンの利便性をあわせもつというコンセプトはそのままに、アクティブでキビキビしたデザインを採用、もったいないクルマづくりを目指しました。低床化やワイドスライドドアによる乗降性向上をはじめ、お子様からご年配の方までの使いやすさを実現しました。インテリアも質感と使いやすさを追求しました。クルマの剛性や日常の走行性能にこだわること、思ったとおりに走ることができるようになり、これまでとはまったく異なる新しいクルマとなりました。プラスアルファの優しさを感じていただきたい。

